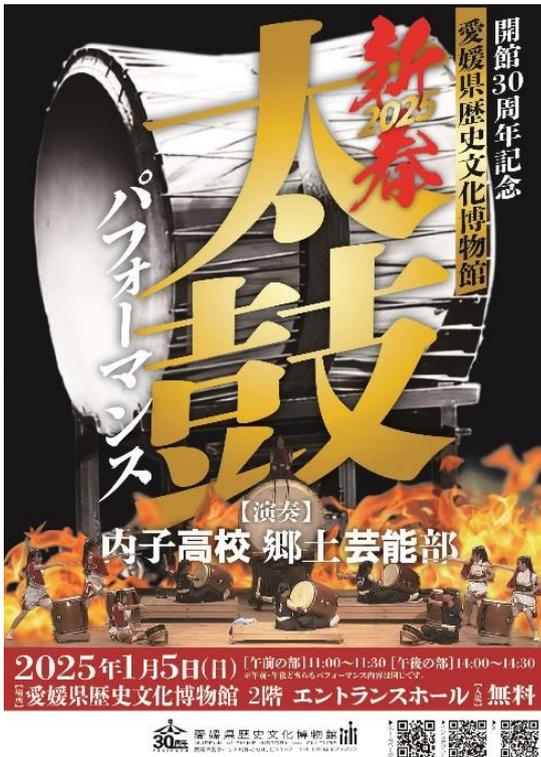


「歴博！新春イベント」で新年のスタート！



令和7(2025)年の幕開けです。1月2日(木)から愛媛県歴史文化博物館(西予市宇和町卯之町)で恒例の「歴博！新春イベント」が開催されていましたが、最終日の1月5日(日)に、郷土芸能部も出演しました。今年は歴博開館30周年の節目の年ということで、イベントを盛り上げるために少しでもお役に立てればと思い参加させていただきました。

当初の予定では、演奏会場は2階の多目的ホールでしたが、本校の大太鼓が大きすぎて会場に入らないことが判明し、やむを得ずエントランスホールでの演奏となりました。

一回目の公演は午前11時からで、部長の新年の挨拶で始まりました。1曲目は正月らしく明るく元気で華やかな「内子騒乱」という踊りを披露しました。この踊りは平成19(2007)年に完成した内子高校オリジナルのよさこい踊りで、大切に踊り継がれています。この日は久しぶりの公演と

いうことに加え、想定外の観客との距離の近さもあり、緊張気味の笑顔(?)でのスタートとなりました。



2曲目は「空」という曲を演奏しました。この曲も明るくて元気の出る曲なので、同じ衣装で演奏しました。4人組の篠笛のメロディーが、いろいろな空を想像させてくれました。



3曲目に演奏したのは「乱舞」という曲です。この曲は先の2曲とは雰囲気がガラッと変わって、太鼓の低音だけが響き渡るカッコイイ曲です。それに合わせて衣装も渋めの半被をはおり、カッコイイ顔(?)で演奏しました。そしてこの曲は、内子高校郷土芸能部のシンボルである手作りの大太鼓も使います。



続いて4曲目は、再び明るくて元気いっぱいの「彩」(いろどり)という曲です。それぞれの楽器にソロパートがあり、会場の雰囲気に合わせて自由にアレンジもできるノリのいい曲です。



最後に演奏したのはもちろん「五十崎大凧出世太鼓」です。地元内子町五十崎の出世太鼓保存会の皆さんから分けていただいたとても大切な曲です。去年は念願だった大太鼓の修理も実現し、全国大会の舞台でもこの曲を披露することができました。この日も、大凧合戦の様子を表した迫力満点の演奏をお届けすることができたのではないかと思います。



午後2時からの二回目の公演も無事に終了しました。聞きに来てくださった多くの観客の皆様、本当にありがとうございました。お陰様で今年も素晴らしいスタートを切ることができました。これからも内子高校郷土芸能部をよろしくお願いいたします。

